ATSXアイスクロス・ダウンヒル・ワールドチャンピオンシップ/／ユーヴァスキラ/

フィンランド

**ルカ・ダルラーゴ、フィンランドでの兄弟戦に勝つ**

**オーストリアのルカ・ダルラーゴは、フィンランド・ユーヴァスキラでのレッドブル・クラッシュドアイス今シーズン第2戦で感情的兄弟戦の末、勝利し、カナダのスコットとカイル・クロクソールを破った。マルコ・ダルラーゴは４位に終わった。日本の山本順子は準決勝まで進み12位となった。**

ユーヴァスキラ（フィンランド）ー　目を見張るジャンプ、荒い転倒、絶え間ない追い抜き戦、そしてスターの思わぬ早期棄権が続いた後、決勝戦は古くからのライバル同士の戦いとなり、結局フィンランドでのレッドブル・クラッシュドアイス今シーズン第2戦では、新しい勝者が生まれた。

オーストリアのルカ・ダルラーゴは土曜日、凍てつくフィンランドの天然氷の難しいトラックを見事に滑り降り、レッドブル・クラッシュドアイス初の勝利を収めた。ダルラーゴ兄弟とクロクソール兄弟間の厳しい戦いが展開され、カナダのスコット・クロクソールが２位となった。兄のカイル、またルカの兄マルコー・ダルラーゴは、レース初期のコンタクトのため、失格となった。カイル・クロクソールは最初にゴール・ラインを超えたが、失格のため３位に転落。またマルコ・ダルラーゴは４位に止まった。

女子部門では土曜日、北海道出身の山本純子が準決勝まで進出し、12位となった。「とても難しいランでした。」とプロのホッケー選手は語った。「競争は激しく、とても一生懸命押さなくてはなりませんでした。」福岡さおりは２６位に終わった。

これは1シーズン４レースのレッドブル・クラッシュドアイスの今シーズン第2戦になる。10レースからなるアイス・クロス・ワールドチャンピオンシップではシーズン半ばまできたことになる。このレースには２０以上の国からの選手が参加し、障害に満ちたトラックを最高時速80キロで滑り降りる。

女子部門では、米国人のアマンダ・トランゾが、６３０メートルの厳しいフィンランドのトラックで優勝、激しい戦いの後、カナダのミリアム・トレパニエを破った。同じくカナダのタマラ・カヤが３位、そしてフィンランドのミーサ・クレモーラが４位になった。

痛いくらい寒いフィンランドの午後行われた厳しいレースで、スコット・クロクソールは良いスタートを切り最初はリードしていたが、マルコ・ダルラーゴと激しく絡み合った結果、最初のコーナーで激しく転倒した。マルコ・ダルラーゴは数カーブ後、カイル・クロクソールとの奮闘に敗れて抜かれた。カイル・クロクソールは最後までルカ・ダルラーゴからリードを守った。ルカ・ダルラーゴは唯一ミスを侵さずに、最後まで滑り、小差で２位になった。しかし数秒後、審判員は、カイル・クロクソールをマルコ・ダルラーゴへの「フェイス・グラブ」で失格とした。またマルコ・ダルラーゴはスタート直後のスコットに対する「ボディ・チェック」で失格となった。

「僕はいいレースをし、無事ゴールしたいと思っただけです。」とルカ・ダルラーゴは語った。どんでん返しで勝利の決まったことにびっくりしているようだ。セントポールでの昨シーズンの準決勝 でのクロクソール兄弟との醜い戦いは忘れようとと思っていたと言う。しかし今回の決勝戦は初めての兄弟同士の戦いとなり、緊張に満ちていた。「レースの前に、前のことは忘れようと決めました。ただできるだけ、一生懸命レースしただけです。予想外なことになりました。」

ユーヴァスキラはレッドブル・クラッシュドアイス唯一の天然氷でのレースで、凸凹や溝があるためもあり、一日中予想外の展開となった。

ユーヴァスキラ（フィンランド）結果：

男子：　1.ルカ・ダルラーゴ（オーストリア）、2.スコット・クロクソール（カナダ）、3.カイル・クロクソール（カナダ）　4.マルコ・ダルラーゴ（オーストリア）、5.ミルコ・ラティ（フィンランド）6.トミー・メルツ（米国）、7.マット・ジョンソン（米国）8.デニス・ノヴォツィロフ（ロシア）、9.ジム・ドパオリ（スイス）、10.ガブリエル・ルノー（フランス）

女子：1.アマンダ・トランゾ（米国）、2.ミリアム・トレパニエ（カナダ）、3.タマラ・カヤ（カナダ）、4.ミーサ・クレモーラ（フィンランド）、5.アナイス・モランド（スイス）、6.マクシー・プラント（カナダ）、7.サンドリーヌ・ランジョン（フランス）、8.ヴェロニカ・ウィンディッシュ（オーストリア）

編集部用の写真は無料：セバスティアン・マルコ、アンドレアス・シャード、ヴィクター・エングストローム、ダニエル・グルンド

他の写真やヴィデオは以下をクリックしてください。

[ftp.atsx.org](http://ftp.atsx.org)